

父、帰る



Vozvrashchenie

国アンドレイ・ズビャギンツェフ 03/露
国クラジミール・ガリン/イワン・ドロズドフ 1h51

03年ヴェネチア国際映画祭グランプリ全獅子賞、他

ヴェネチアを始め世界各国の映画祭で賞を贈らなめている新たなロシア映画の傑作。12年ぶりに帰ってきた父と2人の息子が初めて過ごす7日間の小旅行をシンプルにストイックに描く。父子の心理的葛藤がサスペンスフルに展開し、“家族”という根源的なテーマを深い洞察力であぶり出す、衝撃の人間ドラマ。

16歳の合衆国



The Youth of Leland

国ロジャー・ライフ・ネーグ 国ケウ・スベイク 03/米
国トナチ・クル/ライフ・ゴズリング/ジェナ・マーロウ 1h44

03年ドーヴィル映画祭正式出品、他

16歳の少年が突然起こした殺人事件。なぜ殺したのか？ 答えを求める人々に少年は答える。「彼らが求めているのは“理由”だ。でも物事に理由なんてない。ただ“事”が起きただけだ」と。世界に溢れる哀しみを敏感に感じながら、その対処の術を持たず、心を閉ざした少年の哀しみの叫びはあなたの心に届くだろうか…。

フォッグ・オブ・ウォー



The Fog Of War

国エロール・モリス 03/米
国ロバート・ストレンジ・マクナマラ 1h47

03年アカデミー賞長篇ドキュメンタリー映画賞、他

フォード社社長、国防長官、世界銀行総裁を務めた上げアメリカのスーパー・エリート、マクナマラ。しかし彼の華麗なキャリアを支えたのは20世紀の多くの悲惨な戦争だった。今、カメラを前に赤裸々に語るマクナマラ。歴史の生き証人、彼の証言を私達は絶対に聞かなければならない。同じ過ちを繰り返さないために…。

堕天使のパスポート



Dirty Pretty Things

国ステイヴン・フリアーズ 02/英
国オドレイ・トッド/キエテル・イジョフォー 1h37

03年アカデミー賞リザル脚本賞/ミネート、他 PG-13

ロンドンに住むトルコからの移民、シェナ。彼女はパスポートを持たずにやって来た不法滞在者だった。ホテルのメイドとしてつましく暮らしながらも、いつかはニューヨークへ渡り自由な生活をしたいと夢見ていた。しかし、ある出来事をきっかけに彼女の生き方は大きく変わってゆく…。悲しくも美しい物語。

僕の彼女を ……紹介します



Windstruck

国クァク・ジェヨン 04/韓
国チョン・ジヒョン/チャン・ヒョク 2h03

「猟奇的な彼女」の主演女優と監督が再び組んで贈る、前作よりもさらにパワーアップしたラブストーリー。出会いは最悪だったにもかかわらず、互いに惹かれあい恋に落ちる女性警官と高校教師というのが今回の設定。美しさの中に近寄りたさを持ち合わせるチョン・ジヒョンの「彼女」はあなたを虜にする。

MESSAGE FOR FORUM

「隠し剣鬼の爪」の上映がスタートしました。この映画は、幕末を背景とした青春映画という見方もできます。前作「たそがれ清兵衛」は、若い観客が少なかったように思いますので、「スウィングガールズ」に感動した若者たちにも是非観てもらいたいものだと思えます。10月6日は、山田監督が山形においでになります。その記者会見の時に、「藤沢周平三部作」ということばがとび出しました。しかし、藤沢周平には江戸庶民ものもあり、次回作が海坂藩を舞台にしたものなのかどうかは未定だとも言っていました。「隠し剣鬼の爪」を、山形県内では「たそがれ清兵衛」以上に大ヒットさせ、次回作も是非山形で撮っていただきたいものだと思います。かつて山田監督は、「いい観客がいい映画を生み出す」とおっしゃったことがあります。作り手がいくら頑張っても、観客の支持がなければ次回作を作れない。いい映画を作り続けるバックボードが、いい映画を確実に映画館で観る観客集団だというわけです。つまりは、山形県民映画を次々と生み出すのは、山形県民自身が映画を観ることを通じて力を発揮しているのです。「たそがれ清兵衛」はTVの放送で観たという方も、「隠し剣鬼の爪」は是非映画館でご覧ください。そして2年後には三たび、海坂藩ものをつくってもらいましょう。くだいようですが県民映画を生み出すのは、私たち山形県民です。

この秋は日本映画が大豊作です。いちばん最近観たのは「いま、会いにゆきます」原作も読んでいなかったし、何の予備知識もなく観て、ラスト30分ほほをつたう涙がポタポタ落ちる程泣かされました。そして、家に帰ってからちよっとばかり妻にやさしくなりました。

公開2週間前から、緊急業務試写をこの山形で開始し、口コミでの拡がりを求めて種まきをしています。本格的には10月30日の公開後に口コミで爆発的に拡がって、「涙の国民映画」になるはずだと思います。できるだけ「ハウルの動く城」が始まる、11月20日まで観ていただければと思います。

「ハウルの動く城」は望望の宮崎駿最新作。前々作「もののけ姫」が約200億、前作「千と千尋の神隠し」が304億と、共に日本記録を更新し続けている怪物シリーズです。配給元の東宝は今も日本記録の更新を目指しています。本当に記録を作れるかどうかは公開してみなければ分かりませんが、今年最大ヒットの「ハリ・ポッター3」を追い越し、2004年の最大ヒット作となるのはほぼ間違いありません。

フォーラムでは11月6日から「血と骨」を公開します。これは実話をもとに原作が書かれ、それを映画化したもので、まさに「すさまじい」の一語に尽きます。圧倒されます。これはアート系の映画ではありません。この作品以降、フォーラムも、ロードショー作品が続々登場します。

そしてフォーラムのもう一つの特徴は、韓国映画の秀作が連続ロードショーされることです。「子猫をお願い」「オールド・ボーイ」「誰にでも秘密がある」「僕の彼女を紹介します」と見逃せない秀作ぞろいです。

(フォーラム&ソラリス 代表 長澤裕二)